

第8回教育委員会定例会（R8.8.6）

1 ○教育長あいさつ

それでは皆様、第8回江津市教育委員会定例会を始めさせていただきます。

今日は8月6日ということで、広島に原爆が投下されて81年目の原爆の日となります。惨禍を経験された被爆者も高齢化する中、平和教育の推進、平和への願いをしっかりと続けていかなければと思っております。また7月28日には熊本県を震源地とする大きな地震がございました。災害関連死も含む38名の方が亡くなられたと聞いております。心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りしたいと思えます。今なお、避難所には7,000人を超える方が避難していらっしゃるようで、住宅被害、断水等もあってこの猛暑の中、台風の接近まで懸念されてるということを聞いておりますが、皆さんも無事に夏を乗り越えていただきたいと思います。

さて、教育の方でも7月下旬に政府から骨太の方針が閣議決定され、その中では、教育の質を抜本的に高めると明記されたようです。特に学校教育関係では、A Iの社会実装に向けてG I G Aスクール構想のさらなる前進と、学校でのA I利用を含めて進めていくということが盛り込まれております。本市においても、生成A Iの利活用ガイドラインを令和6年12月に定めましたが、このたび改定をしまして先日周知をしたところです。あわせて一昨日、市内の教職員を対象にした生成A Iの研修を行いました。これは働き方改革の一環として実施したところです。講師の先生からは、A Iを脅威としてではなく心強いパートナーとして考えることだとか、生成A Iの活用によって生産性の向上とか、新しいアイデアの創出、そしてコストや時間の削減などメリットが非常に多いというお話がありました。ただし、教育の世界では特にそうですが、あくまで時短のためのツールであるわけで、著作権とか、ハルシネーションというんですか、ファクトチェックというか、そうしたことへの注意は決して忘れてはいけないというお話もありました。市内11校から40名ぐらいの教職員がタブレットを持ち込んで参加し、皆さん非常に熱心に取り組んでいました。ぜひ校内で共有して欲しいということを伝えたところでございます。

そして、学校再編については、市内6ヶ所で説明会を実施しましたが、委員の皆様には多くの会場にご参加いただきました。ありがとうございます。ご承知の通り様々な意見や質問が出ました。ざっくり言うと、保護者の視点と地域の住民の方々の視点はやはり若干の違いがあるのかなと思ったところです。後程詳しく説明報告があろうかと思えます。

2 教育長の報告 （別紙 教育長勤務報告のとおり）

3 議事録署名委員

天倉委員、佐々木委員

4 議決事項

①指定校変更について（新1年生：3件）

○西本学校教育課長より説明

変更理由） 許可基準5 - （6）「委員会が特に必要と認める場合 友人への配慮等」 2件

許可基準4 「家庭の事情による場合」 1件

〈委員からの意見・質疑等〉

○岡田委員

児童の下校時の迎えについてははっきりしない。もう少し児童の安全性が担保されていないとまずいのではないか。

○堀教育長

この記載内容では我々も判断ができないので、もう少し保護者に聞き取りなどを行い、再度検討していただくこととしたい。指定校変更基準5（6）2件については継続審議としたい。

〈許可基準5（6）については保留、許可基準4については承認〉

②指定校変更について（在校生分：1件）

○西本学校教育課長より説明

変更理由） 許可基準5 - （1）「特別支援学級に入級する場合」
（6）「委員会が特に必要と認める場合 友人への配慮等」

〈委員からの意見・質疑等なし〉

〈全員一致で承認〉

5 報告事項

①教育財産の処分について

○国沢社会教育課長より説明

旧水の国ミュージアム所蔵作品の処分について

〈委員からの意見・質疑等なし〉

②第3次江津市学校整備再編基本計画（案）地域説明会の状況について

○西本学校教育課長より説明

〈委員からの意見・質疑等〉

○天倉委員

想像はしていたが、郷田小学校と江東中学校の統合は令和10年4月という案で非常にせっぱ詰まった感じがした。特に郷田小学校は、渡津小学校と統合する案だが、保護者の中には高角小学校に行かせたいという話もあった。しかし地域の方は渡津小学校と高角小学校に分かれるのは避けたい、できれば郷田小学校と渡津小学校という形で統合を進めたいという話をしていたのが非常に印象的だった。郷田小学校の保護者、地域は統合やむなしというのはご理解いただいている。しかし1年半後、これが非常にタイトすぎるのではないかと。もう少しじっくりと時間をかけて説明したり、交流を図ったりして進めていった方がいいのではないかとのご意見もあった。今後も数回説明会をしたほうがいいと思う。

江東中学校の統合については、やむなしという感じが非常にした。反対ということではなくてやむなし。すでに江津中学校に通っている生徒に対しても、今からスクールバスを出してあげたらどうかとい

う意見があった。ただ江東中学校は地域の学校という意識が強く、地域の発言が非常に多く、肝心の保護者の考えがどうだったのかなと思った。特に反対意見はなかった。

○押越委員

説明を聞く中では、もう少し学校間の横のつながりを強め、早いうちから深めておくことが求められていると思う。スクールバスにしても、遠足や修学旅行とか、先生方からしたらなかなか一緒にというのは難しいかもしれないが、未来を見越して実施したほうがよいと感じた。小規模特認校等が提案されているが、新しい学校を江津市も作るぞという意識があってもいいのではないか。個人的にはそういうチャレンジがあってもいいと思う。

○岡田委員

まず両地区の保護者や地域の皆さんが感情論に走ることなく、冷静な判断をされてることに安心した。該当地域の方々は1年半後の統合はもうすぐというイメージを持たれてると思うので、教育委員会と地域の皆さん、保護者の思いがなるべく併走したような気持ちで、気持ちが離れることがないように進めていただくことをお願いしたい。

小規模特認校がいい意味でクローズアップされたが、存在意義が高められるような内容にしていきたい。スクールバスとか補助とかも必要になってくると思う。保護者から恐らく多くの要望が出ると思うが、1つ1つ何とか配慮して判断していただければと思う。

○佐々木委員

これで終わりではなく、今後も丁寧な説明が必要。いずれにしても子どものためにというのを前提に考えていかないといけない。地域にしても、保護者にしても、それぞれの立場で意見を言うが、子どものためにどうかという線は崩さないようにして考えていかないといけないと思う。

学校サイドも、統合の動きがあるというのはわかっているので、将来を見越した人間関係づくりを同時にやっていく必要があると感じる。幸いスポーツ少年団でいろいろな学校、子どもが一緒になって活動しているから、そういう面では非常にやりやすいところがあると思う。それでも子どもによっては、少人数から大人数というのはやはり抵抗があるので、その辺を学校側としても配慮しながら、教育活動の中にいろいろなものを取り入れていくということもあっていいと思う。

いずれにしても、様々な意見が出ているが、これを全て対応するわけにはいかないと思うので、拾えるものは拾いながら、独自の形で前に進んで説明をしていくということが重要であると感じた。

③心の相談箱及び見守りフィルターの対応状況について

○西本学校教育課長より説明

心の相談箱は入力なし。見守りフィルターは14件該当あり

〈委員からの意見・質疑等〉

○岡田委員

本人はもちろん保護者も悩んでいるのではないか。

○高木主査

保護者のケアも含め、医療に繋げるよう連携をとっている。

6 その他

①小中音楽祭の開催について

○西本学校教育課長より説明

②市町村教育委員会連合会研修会について

○堀教育長より説明

③教育委員の小学校訪問について

○西本学校教育課長より説明

④東串良町との子ども交流事業の中止について

○国沢社会教育課長より説明

④ALT の交代について

○高木主査より説明

7 その他（議題外）

○天倉委員

・全国学力調査結果に関して家庭学習の取組強化について

次回定例会 予定

9月3日（木）14:00

15:38 閉会